

平成22年度 学校経営計画書

岡山県立高梁高等学校

○本校のミッション(使命、存在意義)

- 幅広い教養を備え社会の規範を尊重し主体的に行動できる人間の育成を行う。
- 備北地区の拠点校として地域の期待に応える教育を提供する。

○内外の環境分析

- 【校内】・少人数授業できめ細かい指導ができる。
- ・生徒は素直で穏やかである。
 - ・自然に恵まれ落ち着いた学習環境がある。
 - ・校地が狭いため、生徒の活動に制限がある。
 - ・学力差があり、進路の希望も幅広い。
- 【校外】・近くに大学・短大・専門学校があり、連携活動が行いやすい。
- ・保護者・地域・同窓会が、本校に対して協力的である。
 - ・地域の過疎化、少子化が進んでいる。
 - ・地元中学校の生徒が、南部の高校に進学したがる傾向がある。
 - ・バスの便が少ないなど公共交通機関が利用しにくい。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン(将来像、目指す姿)

- 社会性を身につけ自ら考え行動できる生徒の育成。
- 生徒の個性を伸ばし進路実現に結びつける学校。
- 学習と部活動の両立ができる学校。
- 高い専門性と行動力で生徒と真剣に向き合う教職員集団。

○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

- 1 生徒の進路実現を目指した指導力・授業力の向上。
 - ・生徒の学習状況について幅広く検討するために教科主任会をもつ。
 - ・校外の講師による指導法のアドバイスを受ける。
 - ・図書館利用授業の研修会をもち、教員のスキルアップを図る。
 - ・校内授業研究会を行い、校外授業研究会へも参加する。
 - ・生徒による授業アンケートを年2回にする。
 - ・授業における小テストや課題の工夫を各教科で行う。
- 2 キャリア教育の視点に立った教育活動の工夫。
 - ・修学旅行にキャリア教育に関する研修を企画する。
 - ・総合学習の時間で、大学等の学部学科研究の指導法を工夫する。
 - ・朝の挨拶運動を生徒会執行部と委員会が連携することで拡大する。
- 3 生徒が自主性を発揮できる行事や委員会活動の工夫。
 - ・生徒会執行部が各委員会と連携するため、執行部と各委員長の面談を行う。
 - ・生徒が美化に関わるようにするため、美化委員会が月1回学校周辺の清掃活動を行う。
- 4 情報を共有し課題意識を持って組織的に取組むことができる協働体制作り。
 - ・年次団や各課とも会議を定期的に行い、情報の共有を図る。また、会議の運営方法も工夫する。
 - ・進路通信や家政科通信を発行する。
 - ・部活動顧問会議をもち、部活動の運営方法や困難点についての情報交換を行う。